

日本心理教育・家族教室ネットワーク 第21回研究集会 沖縄大会

<大会テーマ>

ちむぐるでつながる、おっきなわ！

日時:2018年2月23日(金)10:00~17:45

2月24日(土) 9:00~16:30

場所:沖縄県男女共同参画センターているる

パシフィックホテル沖縄

〒900-0036 沖縄県那覇市西3-11-1 / 〒900-0036 沖縄県那覇市西3丁目6番1号

ごあいさつ

この度、日本心理教育・家族教室ネットワーク第21回研究集会を平成30年2月23日、24日の日程で沖縄県那覇市において開催することになりました。節目となる第20回大会が新潟市で開催され成功裏に終わりました。今回大会は新しい10年の始まりの大会となります。「沖縄大会に来てよかった」と思ってもらえますよう、実行委員、スタッフ一同頑張っております。

テーマは「ちむぐるでつながる、おっきなわ！」としました。「ちむぐる」とはウチナーグチ(沖縄方言)で、漢字にすると「肝心」ですが、「人の心に宿る、より深い思い」というのが真意に近い意味です。「おっきな輪」は「大きな輪」と「沖縄」をかけています。沖縄県内でようやく芽を出した心理教育・家族教室ネットワークの輪を県内で大きく育て、全国の皆様と更に大きな輪でつながっていく、という思いを込めました。テーマ通りに沖縄で、そして全国で心理教育・家族教室ネットワークの輪が大きく成長するよう全力で頑張る所存です。

「ちむぐる」の気持ちで、実行委員一同準備しております。2月下旬の沖縄は、桜も終わり徐々に暖かくなって、プロ野球沖縄キャンプも終盤に入り盛り上がっております。昼間しっかりと勉強して頭を元気にしていただき、夜のおもてなしは我々にお任せください。頭に加えて体も元気になっていただくメニューを考えております。泡盛とともに沖縄でお待ちしております。

メンソーレ沖縄！！！！

ンミヤーチ宮古！！！！

オーリーリ八重山！！！！

(それぞれ沖縄本島、宮古、八重山の方言で「ようこそ、いらっしゃいませ」の意味です。沖縄本島で勉強した後は、宮古・八重山観光もおすすめです。)

心理教育・家族教室ネットワーク第21回研究集会

大会長 宮川 治

副大会長 平良 直樹

神谷 牧人

山田 圭吾

日程表

	会場A	会場B	会場C	会場D	会場E	
1日目	ていえるホール	会議室1.2.3	研修室1.2	PH ワイケレ①	PH ワイケレ②	PH カネオへ
9:00	ていえる 受付開始 9:30～					
10:00	開会式 10:00～ 大会長挨拶 ～10:20					分科会① 10:30～12:30 「子どものスポーツ環境を整えるための心理教育的アプローチ～子ども、指導者、保護者の関係を再考する～」
11:00	シンポジウムA 10:30～12:30	「地域精神医療の中で心理教育に求められるもの」				
12:00	飲食禁止			運営委員会 12:45～13:45	ランチョンセミナー① 12:45～13:45 (大塚製菓)	
14:00	基調講演 14:00～15:30 松本俊彦 座長:後藤雅博	基調講演 「依存症とは何か～安心して人に依存できない病～」				
15:00	トークライブ 15:45～17:15	分科会② 15:45～17:45 「家族心理教育とは？ (初心者向け)」	分科会③ 15:45～17:45 「WRAPで沖縄を楽しもう！」		分科会④ 15:45～17:45 「感情調節が困難な かたの家族のための 心理教育的支援」	
16:00	トークライブ「心理 教育は依存症にも 役立つか?！」			懇親会 18:00～20:00		
17:00						
18:00						
2日目	ていえるホール	会議室1.2.3	研修室1.2	PH ワイケレ①	PH ワイケレ②	PH カネオへ
9:00	分科会⑤ 9:00～11:00 「幼児期から青年期のライフ ステージに応じた、発達障害 のある本人・家族への心理教 育の実践」	分科会⑥ 9:00～11:00 「地域生活を支える心理教育 ～ピアサポーターとの協業～」	分科会⑦ 9:00～11:00 「心理教育の立ち上げ、実践 と普及～地域ネットワーク構築 とおひとりからの卒業～」	分科会⑧ 9:00～11:00 「うつ予防の集団認知行 動療法～講演と演習～」	分科会⑨ 9:00～11:00 「心理教育をたいいけんしてみよ う～家族・当事者が主役にな ってみんながワイワイ取り 組もう～」	分科会⑩ 9:00～11:00 「初心者のための統合 失調症心理教育入門 (専門職向け)」
10:00						
11:00	教育講演 11:15～12:15 後藤雅博 座長:宮川浩先生	教育講演 「心理教育の多様性～変遷をたどり、共に広がりを見据 える～」				
12:00	飲食禁止			インストラクター会議 12:30～13:30	ランチョンセミナー② 12:30～13:30 (吉野薬品)	ランチョンセミナー③ 12:30～13:30 (MSD)
13:00						
14:00	シンポジウムB 13:45～15:45	一般演題 13:45～15:45	一般演題 13:45～15:45			
15:00	クロージング 15:45～16:15	シンポB「沖縄県内の発達障害児者に対する心理教 育のこれまでとこれから」				
16:00						
17:00						

特別講演

基調講演 23日(金)14:00～15:30

「依存症とは何か～安心して人に依存できない病～」

松本俊彦(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所)

依存症を取り巻く環境が目まぐるしく変化し、IR法や刑の一部執行猶予制度、アルコール健康対策基本法と依存症に関連する法案も増えてきた。

それほど社会的に注目度の高いトピックである依存症であるが、その理解や治療についてはまだ十分とは言えない状況である。

今回は、依存症治療の第一人者である松本俊彦先生をお迎えして、依存症とは何か、依存症の回復とはなんであるかということ当事者や家族にもわかるような視点でお話しいただく。

教育講演

教育講演 24日(土)11:15～12:15

「心理教育の多様性～変遷をたどり、共に広がりを見据える～」

後藤雅博(医療法人恵生会 南浜病院)

統合失調症の症状と薬について、当事者や家族へと正確な情報を伝えるグループワークというイメージが依然強い心理教育であるが、今日、その対象疾患はうつ病、パニック障害、LGBTと拡大してきている。また、その実施フィールドも医療の場だけではなく、保健、産業、教育へと多様化し、方法も専門職主導のかかわりから当事者が主体となつての活動へと広がりつつある報告を目にする。

今回の講演では、多種多様な場面で心理教育にかかわり続けてきた後藤雅博先生に、心理教育の歴史的変遷についての振り返りと現状、今後の展望や期待する事についてお話しいただく場としたい。

シンポジウム①

シンポジウム① 23日(金)10:30～12:30

「地域精神医療の中で心理教育に求められるもの」

座長:伊藤順一郎(メンタルヘルス診療所しっぽふぁーれ)

シンポジスト:渡邊真里子先生(ちはやACTクリニック)

新垣恵美子氏(訪問看護ステーションリズム)

津嘉山航氏(相談支援事業所ゆには石垣)

嘉数長雄氏(訪問看護ステーションカルペ・ディエム)

心理教育が展開されるフィールドは多様化し、病棟の中で行われている疾病教育だけではなく、当事者の生活の場で「生活のしづらさ」について共有し、ともに工夫を考え出す活動も多く行われていると聞く。

その中には、生活の場での活動であっても医学的視点を伴うかかわりが必要な場合や、生活そのものに焦点を当てたかかわりが必要となる場合もあると考える。

今回は、病棟を出て当事者の生活の場で行われている心理教育の実際について、県内外のパネリストそれぞれの立場からのお話を伺い、今後の課題や展望についても考える場としたい。

シンポジウム②

シンポジウム② 24日(土)13:45～15:15

「沖縄県内の発達障害児に対する心理教育のこれまでとこれから」

座長:知名孝(沖縄国際大学)

シンポジスト:岡崎綾子氏(NPO法人ぺあ・サポート)

山城健児氏(株式会社IMUA)

新垣和江氏(沖縄LD児・者 親の会『はばたき』)

今回登壇するパネリストは、この15年ほど共に発達障害児者の地域支援に関わってきた人達です。ペアトレ・トトレ、親の会活動や児童デイ(放デイ)を実践してきています。今回の企画では、私たちのこれまでの実践を心理教育アプローチとして振り返りつつ、その実践の「よかったこと」と「よくなかったこと」を抽出していきたいと思っています。これまでのやり方で続けていった方がいいこと、そして課題としてなんらかの変更を考えた方がいいことが導き出していければと思っています。

トークライブ

トークライブ 23日(金)15:45～17:15

「心理教育は依存症にも役立つか？」

宮川治(沖縄県立総合精神保健福祉センター)

森廣樹(一般社団法人沖縄ダルク)

松本俊彦(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所)

否認の病と言われる依存症。

回復者といわれる方々は、どのタイミングでこういった出来事を契機に、自身の依存症という現状を受け入れ、治療の道を選択したのだろうか。そして、自身が回復に向かっているという実感を、どんなプロセスを経たことによって感じるのだろうか。

県内における数少ない社会資源のひとつである精神保健福祉センターの依存症ショートケアと、民間リハビリセンター沖縄ダルクからそれぞれ代表のお二人をお迎えし、また依存症治療の第一人者である松本俊彦先生も交えて、肩ひじ張らないトークライブで依存症という病と回復にかかわる思いをそれぞれの立場から語って頂く。



分科会(10会場)

分科会① 子どものスポーツ環境を整えるための心理教育的アプローチ～子ども、指導者、保護者の関係を再考する～

講師:梅崎高行(甲南女子大学)

石垣愛一郎(沖縄女子短期大学)

柳生崇志(沖縄女子短期大学)

「ボールを蹴ることが楽しくてしょうがない」「野球の大会で優勝したい」「プロゴルファーになりたい」等々、子どもがスポーツに取り組む理由はさまざまですが、子どもたちが持つスポーツへの思いを指導者・保護者は的確に理解しながらかかわることができているのでしょうか？本分科会では、現在の子どものスポーツ環境が抱える諸問題について、沖縄県内外の事例や調査データを元にして議論を深め、より適切な指導や支援のあり方を探ります。

分科会② 家族心理教育とは？(初級者向け)

講師:香月富士日(名古屋市立大学)

中川甚一郎(医療法人恵生会南浜病院)

佐藤博幸(医療法人恵生会南浜病院)

大澤孝先生(医療法人恵生会南浜病院)

ご家族に対する心理教育ってご存知ですか？統合失調症における家族心理教育の効果は大変良いもので、世界中の多くの研究では患者さんの再発率が下がっています。この分科会では、家族心理教育の理論と実践方法を初心者向けに基礎から話し、その後、統合失調症の家族を対象とした模擬家族教室を行う予定です。

分科会③ WRAPで沖縄を楽しもう！！

講師:坂本将史氏(NPO法人ちゅらゆい)

はいさい。WRAP(Wellness Recovery Action Plan)元氣回復行動プラン「ラップ」はここ数年、専門誌で特集されたり、各地で「WRAPクラス」が開催されるなど触れる機会は多くなってきています。私の“元氣”を作ることができるのは、私だけ。とてもシンプルで当たり前のことです。しかし、意外と難しいことだったりもします。忙しく過ごす日々の中で、自分自身の“元氣”をつい忘れがちになったり、後回しにしてしまったり…。今回はこの沖縄大会(沖縄)を楽しむための「WRAP」をつくることを通して自分自身の“元氣”について考えたいと思います。

分科会④ 感情調節が困難な方の家族のための心理教育的支援

講師:遊佐安一郎(長谷川メンタルヘルス研究所)

パーソナリティ障害、発達障害、摂食障害、解離性障害などで感情調節が困難な方を支援する立場の家族、友人、専門家は、支援をすることに困難を経験することが多いと思います。家族、支援者のサポートのための心理教育の可能性について考えてみたいと思います。

分科会⑤ 幼児期から青年期のライフステージに応じた、発達障害のある本人・家族への心理教育の実践

講師:岩佐光章(横浜市総合リハビリテーションセンター)

発達障害のあるご本人とご家族への専門的アプローチには、心理教育の視点が欠かせません。本分科会では、乳幼児期から青年期まで一貫した支援を行っている横浜市での取り組みを紹介しながら、就学前の段階でのご家族への早期支援および青年期のご本人へのアプローチを、心理教育という共通のキーワードから考えていきます。医師・ソーシャルワーカー・心理士・保育士・教育関係者等、発達障害児(者)の支援に関わる全ての職種に参加いただきたいと思います。

分科会(10会場)

分科会⑥ 地域生活を支える心理教育～ピアサポーターとの協働～

講師:木村尚美(医療法人社団宙麦会 ひだクリニック)

ピアサポーターが切り開く心理教育の扉「るえか式心理教育」～ピアサポーターとの協働、心理教育は誰でもできる～

この分科会は、ピアサポーターと協働する心理教育を体験し、心理教育の発展、未来への夢や希望を語り合える時間とします。

分科会⑦ 心理教育の立ち上げ、実践と普及～地域ネットワーク構築とおひとりさまからの卒業～

講師:贅川信幸(日本社会事業大学)

渡邊真里子(ちはやACTクリニック)

早川滋人(立命館大学/滋賀短期大学)

家族心理教育を立ち上げ、施設全体で取り組み、質の高いプログラムを継続するために必要なことを考える分科会です。

おひとりさまネットワークとも協働し、特に仲間づくり、ネットワークに焦点を当てながら考えていきます。

分科会⑧ うつ予防の集団認知行動療法～講演と演習～

講師:仲本晴男(医療法人輔仁会 田崎病院)

沖縄県総合精神保健福祉センターでは、全国でも早くからうつ病の方に対する集団認知行動療法を実践し続けてきた。11年の間の実践で多くの当事者がプログラムに参加したのと同時に、研修生の受け入れも積極的に行い、多くの門下生を輩出している。講師は、2017年からは田崎病院にフィールドを移し、ナイトケアで認知行動療法を展開している。本分科会では、今までの経験から、うつからの回復に大切なことやうつ病を本人がどう理解したらいいのかについての講演と、演習を行う予定である。

分科会⑨ 心理教育をたいけんしてみよう～家族・当事者が主役になってみんなでワイワイと取り組もう～

講師:土屋徹(Office夢風舎)

心理教育って何だろう・何をやるのだろうか? 初めて心理教育という文字を見たときには誰でも悩んでしまいますよね。この分科会ではご家族や当事者の方を中心として『心理教育のはじめの一步』を体験することを目的としています。今まで心理教育という言葉聞いたことがある人から、なんかよくわからないという人まで、みんなでワイワイと心理教育を体験してみませんか。

分科会⑩ 初心者のための統合失調症心理教育入門(専門職向け)

講師:内野俊郎(久留米大学)

心理教育を未経験、または関わってまだ日の浅い専門職向けに、統合失調症を持つ当事者や家族への心理教育の概要や基本的な技法、実践するうえで欠かせない姿勢などをお伝えしたいと思っています。

一般演題

2月24日(土)13:45～15:45

1.応募資格:発表者全員が当ネットワークの会員であること(新規加入予定者可)

2.応募期間:2017年9月1日(金)～11月30日(木)

3.応募方法:大会ホームページの応募フォームにそってご入力下さい。

入力後、必要事項を記載したWord Fileを演題受付専用のメールアドレス

(jnpf2018.endai@gmail.com)へ添付の上、送信して下さい。

なお件名は「一般演題申込:筆頭演者名」として下さい。折り返し受付確認のメールをお送りします。確認メールが届かない場合は、受付されていない可能性がありますので、演題受付専用メールアドレス(jnpf2018.endai@gmail.com)までご連絡下さい。

※メール以外での受付はできませんのでご注意下さい。

また、演題受付専用のメールアドレスが受け取れるようご使用のPC、メールツールの設定のご確認をお願いします。

4.必要記載事項:

①演題名-50文字以内

②演者名-発表者を筆頭とし、氏名の前に丸印(○)を、後に(ふりがな)をつけて下さい。共演者も全員記載し、氏名にふりがなをつけて下さい。

③所属:発表者、共演者ともをお願いします。

④抄録本文:800字以内。字数厳守でお願いします。査読を致します。倫理的配慮についてもご記載下さい。

⑤連絡先:発表者の氏名、所属、郵便番号、住所、電話番号、e-mailアドレス

5.発表形式:口頭形式で行います(発表10分、質疑5分)

6.結果の連絡方法:大会委員で査読後、結果をメールにてご連絡致します。

大会参加申し込み

●ホームページからの登録

大会ホームページの大会参加申込ボタンから進み、必要事項を登録して下さい。

大会ホームページアドレス:<https://jnpf-oki2018.jimdo.com/>

●事前参加登録期間及び入金締切日

事前登録期間:2017年9月1日(金)～2018年1月23日(火)

2018年1月26日(金)の入金を最終とし、1月29日(月)までに入金を確認できない場合は当日受付となりますのでご了承ください。

●懇親会のご案内

日時:2018年2月23日(金)18:30～(予定)

会場:パシフィックホテル沖縄

(当日参加は定員に空きがある場合のみ受付いたします)

●参加登録の取消について

事前参加登録期間終了後にお取消の場合、理由の如何を問わず参加費の返金はございません。

●参加証ネームカード、要旨集、参加費領収書について

会場受付にてお渡しとなります。

大会参加費

	事前申し込み	当日申し込み
会員	7,000円	8,000円
非会員	8,000円	9,000円
家族・学生	2,000円	
当事者	1,000円	
懇親会費	5,000円	

申し込み期間

一般演題 2017年9月1日(金)～2017年11月30日(木)

事前登録 2017年9月1日(金)～2018年1月23日(火)

事前登録に関する問い合わせ先

(株)日本旅行沖縄

〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地3丁目21番1号 國場ビル2F

日本心理教室・家族教室ネットワーク第21回研究集会受付デスク

TEL: 098-860-9944 FAX: 098-869-4705

e-mail: jnpf21@ntaoka.co.jp

営業時間 平日 09:30～17:30(土・日・祝日は休業)

大会に関する問い合わせ先

大会事務局: 医療法人天仁会 天久台病院

〒900-0005 沖縄県那覇市天久1123番地

Email: jnpf2018@gmail.com FAX 098-868-2680

大会ホームページアドレス: <https://jnpf-oki2018.jimdo.com/>

会場

沖縄県男女共同参画センター ているる

〒900-0036 沖縄県那覇市西3-11-1 TEL:098-866-9090(代) FAX:098-866-9088

パシフィックホテル沖縄

〒900-0036 沖縄県那覇市西3丁目6番1号 TEL:098-868-5162 FAX:098-868-8876



◆車・タクシーをご利用のお客様

所要時間 :約10分(うみそらトンネル利用時約8分)

料 金 :1000円程度(交通状況により時間、金額は変わることがあります。)

那覇空港~那覇市若狭間を結ぶ「うみそらトンネル(沖縄西海岸道)」が便利です。これにより、渋滞しがちな国道58号線を避けて、那覇空港から当ホテルまで直接アクセスでき、お車で約8分ほどでお越し頂けるようになりました。

①那覇空港ICより「うみそらトンネル」を通って若狭ICへ→②若狭IC交差点を右折→③道なりに直進して約2分ほどで当ホテルに到着

◆ゆいレール & 徒歩をご利用のお客様

所要時間 :那覇空港駅⇒(11分)旭橋駅⇒徒歩(約15分)

料 金 :大人260円 子供120円

・那覇空港駅から乗車し旭橋駅で下車、旭橋駅改札口を出て陸橋を右手に進み、突き当たりを右手に降り道なりに進む。
・一つ目の泉崎交差点を左折し、しばらく直進すると前方右にホテルが見えます。

◆バスをご利用のお客様

所要時間 :那覇空港バス停⇒(20~40分)県庁北口バス停⇒(約15分)三重城バス停⇒徒歩(約1分)

料 金 :大人440円 子供210円

・空港から那覇バス25番に乗車し「県庁北口」バス停で下車。
・市内線(1・2・5番)へ乗り換え「三重城」バス停で下車。ホテルまでは徒歩1分。